

## 閉会挨拶

### 京都大学経営管理大学院 院長 原 良憲 氏

大変お疲れ様でした。少し時間をオーバーしていますが、主催者を代表して、ご挨拶させていただきます。

エリアマネジメントシンポジウム 2018in 東京ですが、まずサイモン氏、ロンドンからお越しいただき、私も初めて話承りましたが、特に心に残ったのは BID における先端的な取り組みと、インクルーシブデザインとレジティマシーと言いましょうか、全員参加して、かつ正当性のある取り組みである。それを BID という領域、考え方に則って、具体的にお話しただいて、非常にいろいろなところにも適用できるようなアプローチかと思います。

そして、北は北海道札幌の札幌駅前通まちづくり会社の白鳥健志氏、南は、沖縄北谷町のデポアイランド通り会の奥原悟氏に、遠方からご参加ご登壇賜り、誠にありがとうございました。さらに青柳氏、榊氏、佐藤氏をはじめとして、中央省庁からも内閣府地方創生推進事務局及び国土交通省から政策立案の第一線に携わっておられます幹部の皆様にもご登壇賜りましたことを陳謝申し上げます。

さて、京都大学の経営管理大学院ですが、ご存知の方もご存知ない方もいらっしゃるかもしれませんが、約 12 年前に MBA（ビジネススクール）を京都で設立しまして、文理融合の高度経営人材の育成を行っています。今日のテーマに関係する内容としましては、特に大規模な、国と国に跨るような、そして複数年度にまたがるようなリスクの高いプロジェクトのマネジメントの経営人材育成、或いは今回のエリアマネジメントもですが、広い意味のサービス産業の生産性向上ですとか、ものづくりにおきましてはいい技術があっても、なかなか価値が持続しない、コモディティ化してしまう、それをなんとか付加価値を高めて、グローバルに展開したいという意味でのサービスアンドホスピタリティ、今年の 4 月には、観光経営をマネージする人材を養成する観光経営科学コースなどの MBA コースを設置しています。

それから、まだ正式にはアナウンスできておりませんが、来年の 4 月からは、コーネル大学と連携しまして、京都大学・コーネル大学の国際連携コース、京都大学とコーネル大学で 1 年ずつ勉強すれば、両方の修士号を授与するという取り組みも、今、チャレンジしているところです。是非興味のある方は、英語の勉強を少ししていただければと思います。そういった中で、特に先端的なマネジメント研究と、高度に専門的な実務の架け橋となる教育体系としまして個性のある人材を育成していますが、この趣旨を実現する一環として 2014 年 3 月に、光亜興産株式会社より寄付をいただき、当大学院に、官民協働まちづくり実践講座というものを設置しまして、まちづくりに関わる教育人材育成や研究活動に取り組んでいます。また講座の名前の通り、官民協働のまちづくりを担うエリアマネージャーの実践を応援してまいりました。

今日のお話で、私が非常に関係すると思いましたが、特に奥原氏がおっしゃっておられたエリアの価値、無形資産と一般に言われますが、景観や安心安全ということです。特に京

都は、景観の保全と活用のバランスをどうとるか、今、非常に今、大きな問題になっております。それからクリエイティブな人材にどう地域に来ていただいて定着してもらうかというのも非常に大きな課題で、無形の価値を創出し、保全し、持続し、かつ評価活用できるマネジメントは、非常に大事で、今日は大変感銘を受けました。そして、三方良しとして、近江商人も「売り手良し、買い手良し、そして世間良し」と言うておりまして、我々今京都では、「未来よし」というステークホルダーも含めた四方良しというのをどうマネージしていくかを、いろいろな企業、市と府とも一緒になって取り組んでいるところです。今日のお話は、非常にそういうところとも接点があると思いました。また、白鳥氏のお話では、ある意味、経済的価値と社会的価値をどう両立させるかというのは、非常に大事な側面で、どちらかがバランスが壊れても持続しないという一種のマルチステークホルダーの経営を、エリアマネジメントという領域で、具体的に成功されている、非常にいい事例と話しを承りました。

こういったところが地域の合意形成、評価というところの活動の考え方に繋がっていると思いますが、我々も他のところからは笑われるかもしれませんが、今、京都では「千年を紡ぐ企業認定」という評価を毎年行っており、これからの1,000年を紡ぐということで、そういう企業や企業理念をきちんと評価するような軸を考えて進めているところで、今日のお話は、そういう意味での無形の価値資産をどう評価するかという点でも、非常に示唆に富んだお話でした。

こういったところから次のステップとしましては、今日は、サイモン氏にもお越しいたいただき、グローバルな視点で、かつ官民の実務家の皆様もご参加いただいております。今後は、我々も、全国エリアマネジメントネットワークの皆様の人的ネットワークと、それから今回のシンポジウムにご参加、ご登壇を賜りました、皆さまと手をあわせて、まちづくりの実践に貢献して参りたいと考えております。

繰り返しになりますが、大変お忙しい中、本日のエリアマネジメントシンポジウム2018in東京にご登壇並びにご参加いただきました皆様に重ねて感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。